

1 単元名 冬休みの思い出についてスピーチしよう

2 単元の目標

- 書く活動や話す活動に積極的に参加する。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 冬休みに誰とどこへ行き、何をしてどう感じたのかについて英語で書いて、発表する。 (外国語表現の能力)
- 教師の冬休みの思い出を聞いて、理解する。 (外国語理解の能力)
- 思い出を伝えるとき使用するキーフレーズを理解している。 (言語や文化についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材観

自分が冬休みに誰とどこへ行き、何をしてどう感じたのかを、短い英文で表現し、伝えることで、英語表現の楽しさを感じることができる教材である。

(2) 生徒の実態

本学級の生徒は、英語を書いたり、発表したりすることを苦手と感じている生徒が多い。アルファベット文字の違いを区別したり、語と語の間にあるスペースの有無を認識したりすることや、単語の発音・意味を覚えるのに困難を伴う生徒がいる。

アルファベット穴埋めテストの結果 (平成26年*月実施 1学年*名)

<p>問題 次の()に小文字または大文字を書き入れ、アルファベットを完成させなさい。</p> <p>(1) A B C () E () G H () J K L () () O P () () S T () V () () Y Z</p> <p>(2) a () c () e f () h i () k () m n o () () () s t u () w x () z</p>	<p>結果 満点 (20点) を取れた生徒の人数 * / *名</p>
---	---

「夏休みの思い出」スピーチテストの目標および評価結果 (平成26年*月実施 1学年*名)

目	標	夏休みの思い出について、英語で6文以上書き、話して伝えることができる。
発表の評価規準	A	きちんと暗記してスムーズにできた。
	B	ほぼ暗記し、少ないミスでできた。
	C	先生の援助でなんとかできた
	D	テストを受けなかった
結	果	A:*名 B:*名 C:*名 D:*名

Cの評価は、ほぼ暗記できず、教師がほぼ全文をささやき、英語をそのまま繰り返した生徒である。英作文を覚えることができなかった生徒と、覚える意欲がなかった生徒の両方が混ざっていると考えられる。本単元では、本学級の*/*(*名)の生徒は、アウトプットへの能力と意欲の両面で支援が必要であると考えられる。

(3) 指導観

短期記憶が苦手な生徒のために、キーフレーズを細切れにして覚えられるフラッシュカードを作成し、個々の生徒のペースで、クイズ形式で反復練習できるように工夫する。教師の英語はスライドで画像を提示することで、どんなことを話しているのか理解できるように工夫する。書くことに関しては、個々の生徒のペースで英語を綴ることを容易にするため、インターネットの翻訳サイトを活用する。

4 指導と評価計画 (3 時間扱い)

時間	学習内容	関	表	理	知	評価規準 (評価方法)
1	導入, キーフレーズを覚える。			○	○	・5文のキーフレーズを覚えたか。(観察)
2(本時)	冬休みの思い出について6文以上の英語で書く。	○	○			・書く活動に積極的に参加しようとしているか。 ・キーフレーズを使いながら、自分の冬休みについて6文以上の英語で表現できたか。(ワークシート)

